

区政を聞く 代表質問(要旨)

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

令和8年度当初予算案
問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

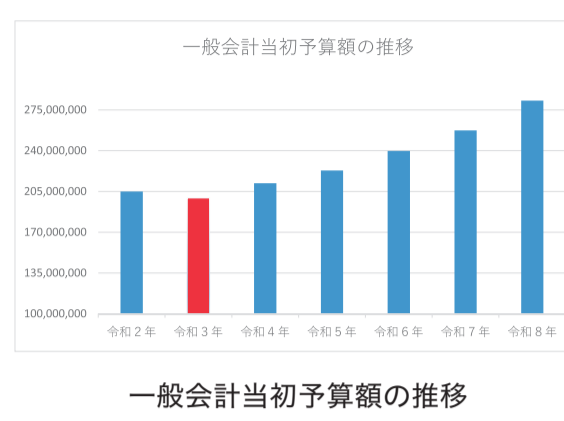
問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。



答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

葛飾区議会公明党

将来を見据えた財政運営、定住人口維持・拡大の施策展開

問)大規模救急病院が施設の老朽化や機能強化のために建て替えを検討する時期にあることについて、区は把握しているのか。また病院が区外へ転出した場合、区内の救急受入能力や災害時の医療体制へのどのような影響が出るかと考えているのか、区の見解を伺う。

答)救急医療体制の確保は、区民の生命と健康を守る上で非常に重要である。区内の大規模救急病院のいくつかは建て替えを検討する時期となっており、区は認識しており、区外へ転出した場合に大きな影響が生じると想定される。そのため区内における救急医療体制および災害医療体制の維持・確保に努めることが重要であると考える。
※他の質問項目 整備手法 など

将来を見据えた行政組織の運営

問)将来的に人口が減少する予測の中、将来を見据えた行政組織の運営と長期的な財政運営を踏まえた区民サービスの在り方について、区の見解を伺う。

答)本区が将来にわたって繁栄するためには、魅力的なまちづくりを推進していくことが重要である。そのため、快適に暮らせる都市環境を創造することも、DXの推進などの経営改革に取り組み、時代に即した行政サービスを提供することで「選ばれたまちづくり」を推進し、人口維持を図っていく。
※他の質問項目 行政組織編成 など

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

葛飾区議会公明党

将来を見据えた財政運営、定住人口維持・拡大の施策展開

問)大規模救急病院が施設の老朽化や機能強化のために建て替えを検討する時期にあることについて、区は把握しているのか。また病院が区外へ転出した場合、区内の救急受入能力や災害時の医療体制へのどのような影響が出るかと考えているのか、区の見解を伺う。

答)救急医療体制の確保は、区民の生命と健康を守る上で非常に重要である。区内の大規模救急病院のいくつかは建て替えを検討する時期となっており、区は認識しており、区外へ転出した場合に大きな影響が生じると想定される。そのため区内における救急医療体制および災害医療体制の維持・確保に努めることが重要であると考える。
※他の質問項目 整備手法 など

災害対策

問)避難所運営の生活環境の改善に向けた、自己循環型水洗トイレも含めた災害時におけるトイレに対する考え方について、見解を伺う。

答)第一順位避難所へのマンホールトイレの整備や簡易トイレの備蓄などを推進しているが、令和7年度に自己循環型水洗トイレの導入を進めている。
※他の質問項目 財源の確保 など

日本共産党葛飾区議会議員団

大型事業優先の財源を奪うしを守る施策に使用

問)区長の経費削減と区民生活の今後
答)区長の経費削減については、区民生活の安定と福祉の向上を最優先とし、必要最小限の削減を行う。また、子育て支援や高齢者福祉など、区民生活に直結する分野への財源確保に努める。
※他の質問項目 子育て支援金について など

2026年度予算

問)昨年の政府補正予算による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した区民に対する給付は、特別区で最低なので追加措置が必要なのではないか。
答)令和8年度予算案においては、これまでの取り組みに加えて、学用品の支給や、子育て支援金については、必要最小限の削減を行う。また、子育て支援や高齢者福祉など、区民生活に直結する分野への財源確保に努める。
※他の質問項目 子育て支援金について など

子育て・教育

問)義務教育に係る費用の無償化などの施策が広がるなか、次の手として定住人口の維持・拡大につながる子育て施策の充実を図っていくことが重要と考えるが、見解を伺う。
答)現在、子育て施策を推進するに当たっては計画的に取り組んでいるところだが、物価高騰対策のような迅速さを求める取り組みについては計画にとわられることなく対応を図っていく。計画的な取り組みと状況に応じた柔軟な対応の両面から、切れ目のない支援に取り組むことで、ファミリー世代や年少人口の定住促進につなげていく。
※他の質問項目 特色ある幼児教育推進事業 など

女性専用外来の設置と

問)女性専用外来の設置と本区の公共交通について
答)女性専用外来の設置については、本区の公共交通については、引き続き検討していく。
※他の質問項目 女性専用外来の設置と本区の公共交通について など

女性専用外来の設置と

問)女性専用外来の設置と本区の公共交通について
答)女性専用外来の設置については、本区の公共交通については、引き続き検討していく。
※他の質問項目 女性専用外来の設置と本区の公共交通について など

女性専用外来の設置と

問)女性専用外来の設置と本区の公共交通について
答)女性専用外来の設置については、本区の公共交通については、引き続き検討していく。
※他の質問項目 女性専用外来の設置と本区の公共交通について など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

自由民主党議員団

DXによる経費改革と
将来を見据えたまちづくり

問)これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答)区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。
※他の質問項目 経費改革への取り組み など

今後の葛飾区の教育行政

問)小学校から中学校への移行期における「中一ギャップ」の解消に向けて、家庭学習にせよ一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についてもさらに進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答)中一ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っている。
※他の質問項目 職員の業務負担など

かつしか区民連合

有効性のある行財政改革に向けた執行体制の構築を

問)ほとんどの区では、予算編成過程の公表に取り組んでいる。当初予算編成過程を公表していくべきだと考えるが、区の課題認識と見解を伺う。

答)区では、現在公表していないが、今後、先行自治体の実施方法や公表による効果など、さまざまな角度で検証し、公表に向けて検討していく。

立石駅周辺のまちづくりと救急医療

問)行政評価を予算へ反映させるように見直ししていく必要があると思うが、区の課題認識と見解を伺う。

答)現在、行政評価の結果が、参考資料としての位置づけにとどまり、改善を必要とした事業について、予算への反映やその後の対応が分りにくいという課題がある。そのため、行政評価の結果を予算により反映できるように、具体的な仕組みの構築に向けて検討を進めていく。
問)景気変動リスクを考え、不断の行財政改革を実行するための執行体制の強化について、区の課題認識と見解を伺う。
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための執行体制の構築を進めていく。
※他の質問項目 行政評価制度 など

かつしか立憲

知識と経験を持った人材育成と孤立を防ぐ取り組みを

問)行政組織における専門人材をはじめとした人材確保と育成
答)現在意識改革や透明性を図っているが、今後も行政評価制度を着実に運用し、不断の行財政改革を実行するための

答区民の医療ニーズや課題を整理し、女性特有の健康課題に応じる包括的な医療提供体制について都立東部地域病院や区内医療機関に対して引き続き働きかけていく。

※他の質問項目 **がん検診の受診率向上 など**

本区の公共交通

問かつり道の実証運行を成功させ、区内他地域へも広げるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答西亀有地域での実証運行を通じて、周辺バス路線への影響や適切な行政負担などについて検証を行った上で、他地域への展開について検討する。

※他の質問項目 **移動ニーズの把握 他、質問件名 若者支援の取り組み、リチウム電池回収の強化**

かつしか区民連合

教育現場における危機管理体制と地域主体型交通の推進

問学校閉鎖の決定段階において、感染原因が未特定にも関わらず学童保育クラブの開所を打診したことについて、そのリスクと責任の所在はどう評価したのか、基準も併せて伺う。

答区教育委員会事務局では、学校休業日の運営について、これまで公立学童保育クラブに準じて私立学童法人に対しても開所を打診してきた。今回についてもこれまでの対応を基に受け入れを打診し承諾を得たものである。そのため、責任の所在は教育委員会事務局にあると認識している。

※他の質問項目 **教職員等の参集訓練の実施 など**

問既にグリーンスローモビリティが走行している路線を活用し、民間企業と連携した自動運転の実証走行を検討するなど、今後の地域交通の発展と将来的な自動運転社会への移行を見据えた戦略的な取り組みを検討すべきと考えるが、区の見解を伺う。

地域主体型交通と自動運転化

問当該臨時交付金を既に執行している過去に提出した補正予算による事業の財源としてこっそりと充当し財政負担を減らそうとする態度は姑息で



岐阜県の地域主体型交通

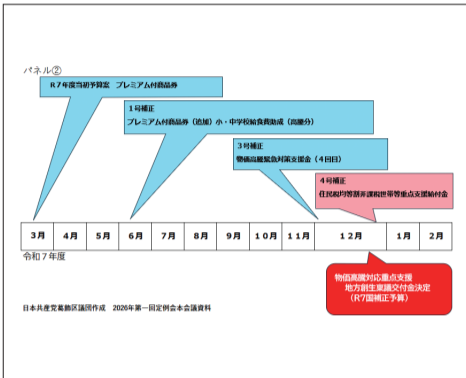
答東立石・東四つ木地区の道路環境やAIによる自動運転技術の進展を踏まえ、グリーンスローモビリティの走行路線に限らず、将来の導入可能性を見据えつつ、国や民間企業の動向を注視しながら、研究を進めていく。

※他の質問項目 **システム面での高度化の検討 など**

他の質問件名 **葛飾区の財政運営と行財政改革、荒川流域圏構想の自治体間連携**

日本共産党葛飾区議会議員団

連続した物価上昇を認識しても区民生活の支援は限定的である物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の使い方



一般質問時のパネル

問当該臨時交付金を既に執行している過去に提出した補正予算による事業の財源としてこっそりと充当し財政負担を減らそうとする態度は姑息で

はないか。他事業費へ充てるのをやめ、全額を区低所得世帯給付金事業に充当し、さらに独自財源を加えて給付対象や金額の拡充を行うために第5号補正予算をやり直し、新たな補正予算編成が必要ではないか。

答国や都の各種支援策とも連携しながら区民生活の向上に向け適時適切な支援策に取り組み所存であり、やり直し考えはない。

※他の質問項目 **事務費の圧縮 など**

公共の在り方について

問新しいものにすぐに飛びつく、企業のもうけの手段に公共施設を使わせ、無駄遣い、不公平と、今の青木区政を象徴するものとなっている。まさに公共の在り方が問われる大問題であり、事務事業を執行するために、考え方を根本的に改める必要があるのではないか。

答今後も葛飾区民間活用指針に基づき民間活力を活用した区民サービス向上の視点から適切な事務事業の執行を行っていく。

※他の質問項目 **東金町運動場 など**

他の質問件名 **マイナンバーカードとスマホの所持を前提にした行政サービスのデジタル化推進の問題、自衛隊への名簿提供、シルバーパスの拡充と今後の対応**

かつしか立憲

清潔で快適な環境を維持するための適切な管理を

区のリサイクル対策

問街の清潔で快適な環境を維持していくためには、空き缶、ペットボトルなどのリサイクルをさらに効率良く行う必要がある。区民への啓発などの対策について、区の見解を伺う。

答効率良くリサイクルをするためには、容器を軽く洗う、異物を混入させないといった、適切な排出が重要となる。現在、ごみ減量キャンペーンや出前講座を実施しているが、より幅広い啓発の実施方法を研究していく。

※他の質問項目 **資源ごみの持ち去り防止 など**



自動販売機横のごみ箱

区道の維持管理

問「全国みどり」と花のフェアかつしか」に向け、交通への支障や美観などの観点から区道の適切な維持管理が必要と考える。区の見解を伺う。

答会場及びその周辺を巡回し、除草清掃作業を実施していく。また、現在計画している歩道上の植樹帯への補植作業を進め、美観の向上を図る。

※他の質問項目 **公共空間である区道の雑草への対策 など**

他の質問件名 **自転車青切符制度における区の取組**

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

共に支え合う地域づくり 障がい者支援と災害対策の重要性

問精神障がい者の地域活動支援センター地域共生社会の中核拠点として地域活動支援センターを発展させていく必要があると考えるが、今後の展望について伺う。

答今後は、相談機能の強化に加え、医療・就労・地域団体との連携を図り、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた重要な社会資源として、地域共生社会の中核拠点としての機能を充実させていく。

※他の質問項目 **補助金見直し など**

災害への備え

問避難が必要な要配慮者の避難について検討が進む中、避難先での支援に

ついても目を向ける必要があると考える。災害時、要配慮者の命を救うための取り組みを進める上で、一層の体制整備をどのように進めていくのか見解を伺う。



要配慮者の避難訓練

無所属 (※8)

問区内公共施設の図面を用いた福祉避難所の図上訓練を重ね、各福祉避難所が円滑に開設・運営できるように、マニュアルの作成に取り組んでいく。平時の備えを強化し、災害時に要配慮者の命を守る体制を整備していく。

※他の質問項目 **電源確保体制 など**

他の質問件名 **認知症施策の推進**

無所属 (※8)

税金使途の透明性・公平性の確保 住まいに対する支援制度拡充

問民間事業者が運営する本事業への負担金支出は、テナントが埋まらない複数の建物がある中で、優遇的で公平性に欠けるといえるのではないか。



リリオ亀有

答亀有地区のまちづくりに資する公共の利益であるものと判断して参画し、一定の負担をすることとしたものであり、空きテナント対策のみを目的として実施しているものではない。

問透明性・公平性を確保するために、明確な指針が必要ではないか。

答費用負担が真に受益の範囲内であるかといった観点を指針としながら、事業内容や運営改善を協議していく。

※他の質問項目 **事業の効果 など**

他の質問件名 **公契約条例、住まい確保と住宅供給・家賃助成**

無所属 (※9)

問災害時における本区の取組 避難訓練では、避難行動に支援が必要な当事者も交えた訓練が必要だと考えるが、今後の方針を伺う。



避難訓練の様子

問避難行動に支援が必要な当事者も交えた訓練については、参加する際のサポートなどの課題があるため、訓練の在り方を検討していく。

※他の質問項目 **避難先の確保 など**

重度障害者の「18歳の壁」

問18歳の壁について、区の認識を伺う。

答18歳未満と18歳以上でサービス提供時間が異なるため、介護する家族の就労の継続が困難となるなど、課題があることを認識している。

※他の質問項目 **時間延長促進 など**

他の質問件名 **孤立死対策、いじめ**